

平成 28 年度のごみ減量・分別について

1 28 年度キャンペーン実施概要

○ 趣旨

震災以降、高止まりしている家庭ごみに混入する資源物の割合を減らすため、「WAKE UP（ワケアップ）！仙台」をキャッチコピーとして、市民・事業者の皆さまと協働した広報・啓発を展開する。

今年度は、特に、「若年層」「集合住宅居住者」「居住年数の短い者（短期居住者）」を対象に、家庭ごみの約 30%、事業ごみの約 20%を占める「紙類」の分別徹底を呼び掛けるため、これまでとは違った目新しさや新鮮さをイメージした施策展開を図っていく。

○ キャッチコピー・ロゴマーク



WAKE UP!!（ワケアップ）仙台 ～めざめよ！ごみ分別都市～

- ・ 「WAKE UP（ウェイクアップ）」と「ワケアップ」という2つの読み方をするすることで、本市の先駆的な環境施策を実現してきた市民・事業者の高い環境意識と、さらなるごみの分別徹底への意識を呼び覚ますために「めざめよ！」と「分別向上」の2つの意味を持たせたもの。
- ・ ロゴマークは、「めざめよ！」というメッセージを伝える「目」のイメージや、ごみの袋をイメージさせる中心部のマーク、さらに左右の括弧は、数学的な不等号をイメージして、分けることが何よりも重要である、といったメッセージを込めてデザイン。

○ 実施期間

平成 28 年 6 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで実施。なお、当該キャッチコピー・ロゴマークは、仙台市一般廃棄物処理基本計画の計画期間である平成 32 年度末まで使用し、様々な事業展開を図っていく予定。

○ 28 年度の目標

- ・ 1 人 1 日当たり家庭ごみ量を 470 g / 人日以下にする。
- ・ 家庭ごみに混入する資源物の割合を、38%以下にする。
- ・ 家庭ごみに混入する資源物の割合のうち、紙類の混入率を、25%以下にする。

2 「WAKE UP (ワケアップ) ! 仙台」の主な施策

(1) これまで実施してきた取り組み

○ キックオフパレード

キャンペーン開始に先駆け、5月29日(日)に市内中心部で市長、ワケアップキャンパス(後述)、市民団体、伊達武将隊、消防音楽隊、市職員によるパレードを実施し、分別呼びかけを実施。

○ 「WAKE UP CAMPUS(ワケアップキャンパス)」(以下「WUC」)

大学生によるプロジェクトチーム WUC を結成。若者ならではの視点と感性を生かし、Facebook でのごみ減量・リサイクル推進に関するさまざまな情報発信を実施。今後は、ごみ減量・リサイクルに役立つツールの開発や、イベントへの出展なども実施予定。

○ ごみ分別アプリ「さんあ〜る」(仙台版)の運用開始

収集日カレンダー、お知らせ機能、ごみの出し方ガイド、分別検索機能等、ごみ出しや分別に便利な機能を備えたスマートフォン用アプリの運用を6月1日より開始。

○ 「ごみ de ダイエット チャレンジ」

家庭ごみの重さを実際に量り、基本計画目標の「1人1日あたり 450g 以下」達成に向けて減量に取り組む企画。第1回は6月1日から7月31日まで募集。第2回は秋に実施予定。

○ メディアを活用した広報

市政だより、テレビCM、交通広告等のメディアを活用し、特に若者にごみの分別と減量に興味・関心を持っていただけるよう、デザイン性を意識した広報展開を実施。また、キャンペーンのキャッチコピー・ロゴマークの浸透を図るため、市役所本庁舎への看板設置や、公用車等の車体へのマグネットシートの貼付、市職員用缶バッジシールの配布等も実施。

○ キャンペーンちらしの作成及び配布

紙類分別を強調したキャンペーンちらし(別添)を作成し、町内会等へ配布。

(2) 今後実施予定・検討中の取り組み

○ 「資源とごみの分け方・出し方」全戸配布

仙台市内への転入者向け配布している「資源とごみの分け方・出し方」の冊子を改訂し、今年度秋に、5年ぶりに市内全戸配布を実施。

○ 「せんだいリサイクル拠点ナビ」の制作配布

資源回収庫や紙類回収ステーション、小型家電回収拠点など、市内158カ所で資源物の回収を行っている場所を示したリーフレットを新規に制作し、公共施設等で配布する他、不動産会社や転入者等への配布を検討中。

○ 地域での分別啓発活動

今年度秋に、地域で市民協働による分別啓発活動の実施を検討中。